※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　地理総合　世界を学び、地域をつくる(第一学習社)						
副教材等	標準高等地図(帝国書院)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

２　学習の到達目標

a: 知識・技能

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理 情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

b: 思考・判断・表現

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

c：主体的に学習に取り組む態度

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての深く理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	第１編　１節 球面上の世界と地図 ①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 1、⑦地理情報システムの活用	・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと，地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し，科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで，日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし，日常的に使われている GNSS や GIS など, 新しい地図表現の役割を理解する	定期考査 定期考査	小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート
	国家の結びつきとグローバル化する社会	２節 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	・さまざまな情報手段を用いて，現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに，日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか，理解する。 ・グローバル化の中で，人・「モノ」・資本の国際移動の複雑化や，国家的結びつきの変化に気づき，国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。	定期考査 定期考査	小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	生活・文化の多様性と国際理解	１章 ①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	・人々の生活様式の差異を通して，地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・世界の気候帯ごとに，どのような特徴があり，どのような生活が営まれているのかを学習する。	定期考査 定期考査	小テスト 小テスト 課題提出	ノート提出
		③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか関心を持ち，地域固有の自然環境や歴史，風土に基づいて形成されたと同時に，グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。 ・多様なアイデンティティに持つ世界の人々と共生していくためには，他者の文化を尊重するとともに，自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。	定期考査 定期考査	小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート
		第２編　国際理解と国際協力 ２章　地球的課題と国際協力 １節　持続可能な社会を目指して ①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面 ２節　すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題	・５つのＰの枠組みを活用して，持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び，地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。 ・SDGs の達成に向け，さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に，企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して，自らの行動を見直すことができる。 ・現在，直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し，それらは相互に関連し，地域によって現れ方が異なることを理解する。	定期考査 定期考査 定期考査	小テスト 課題提出 小テスト	ノート提出 振り返りシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	持続可能な地域づくりと私たち	４節　現役世代と将来世代のための地球 ５節　平和で公正な社会に向けて ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ	・世界の民族とは，共通の帰属意識（アイデンティティ）を持つ集団であり，世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり，多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば，内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。 ・NGO や NPO による国際協力や，CSR にもとづいた企業の国際協力，消費者の立場で自ら取り組む国際協力など，さまざまな形のパートナーシップについて理解できる。	定期考査	小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート
		づくりと私たち １章　自然環境と防災 ①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え	・日本に暮らす人々の生活は，気候や局地的な気候，地形などに影響を受けていることを，実体験に基づいて理解する。 ・自然災害に備えるためには，ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに，災害に強い地形や環境について理解し，災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう，地域防災力を高めるために個々人ができることを積極的に話し合う。	定期考査	小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度